

平成30年6月
園長だより

鴨池の風

まことの保育

鹿児島竜谷学園
幼保連携型認定こども園
鴨池幼稚園

心身への虐待と優しい虐待

親による心身への直接的虐待が大きな社会問題となっています。親の身勝手な理由から命を落としてしまう子どもたちがいることは大きな悲劇です。幼稚園としても関係機関と連携しながら、細心の注意を払って子どもたちを見守っていきたく強く念じております。

しかし、一方で勉強もできて、性格も良く、しつけも行き届いた自慢の子が、突然、学校に通わなくなり、自室に閉じこもってしまったり、突然、問題行動に走ったりする、いわゆる“よい子の破綻”があります。原因が分からずに苦しむ親が多い中、研究者がその多くに共通する特徴として注目しているのが、親による「やさしい虐待」だそうです。

一般的な児童虐待は、暴力や暴言などで直接子どもを傷つけるものですが、一見、子どもにはプラスに思える「教育」や「しつけ」「過剰な関心」も過度に押し付けると子どもをがんにがらめにし、虐待と同様に心を蝕んでいくというのです。

例えば、親の顔色を窺ってご機嫌を取るような言動をすることが日常化している子ども。親が喜んでくれなかったり機嫌が悪くなったりすると、そうなったのは自分のせいだと思い自分を責め、自分はダメな人間だと自信を失ってしまう子ども。その鬱積した思いを物や人への暴言や暴力で昇華する子ども。また親が喜ぶような言動を取ったり、時にはそういう状況をつくるために、嘘でその場繕いをしたりすることに慣れてしまった子どもなど…。思い当たることはありませんか？ 教室の中で、子どもらしくおどけたり、友達や先生と楽しく戯れていた子が、親の姿を見たり、声を聞いた瞬間にその表情や態度が一変するような子ども、家庭の中で本当の自分の気持ちを表すことができないでいる子ども、親の矛先が、自分自身に向かないように、真実を歪め隠してまで親の非難の目が友達や先生へ向くようにしてしまう子どもの中には、過度に厳しくしつけられている家庭の子どもや我が子への過剰な期待が原因となることが多いのではないかということが、徐々に明らかになってきているようです。

今、研究者の間では「やさしい虐待」によって損なわれた子どもの心や親子関係をどうすれば修復できるか、その模索が始まっています。過重な期待、過度に厳しいしつけ、過剰な教育熱などと「子どもの心」との関係を私たちも注視しながら、よりよいバランスを意識した指導を見出す必要がありそうです。

土曜日・長期休業中のあずかり保育について

園では現在、あずかり保育の急なキャンセル対策に苦慮しています。あずかり保育では保護者からの事前の申し込みを受けて、その予定人数から必要な給食数や職員の配置数を決めています。

しかし、当日の朝などに急なキャンセルがあり、園として大変困っている状況です。申込者35名中17名が当日にキャンセルされたり、連絡なしでお休みされる方もおられます。

昨年の夏休み中は、ほぼ毎日20名以上の方が、1日前から当日にキャンセルされるという実態がありました。急なキャンセルとなれば、給食数や食料量の変更もできず、その結果、残食や無駄となる食料が増えて給食会計が圧迫されたり、保育職員や給食調理員の過剰な配置という問題も起こります。

来月から長期休業となり、今年も預かり保育の申し込みをお受けする時期となりますが、約40日間の長期休業中に発生するキャンセル者の延べ人数はかなりの数に昇り、支出する費用は大きな金額となります。

そこで、夏季休業中、あずかり保育を希望される方は**計画的なご利用**をお願い致します。また、予約をキャンセルされる場合は、**前日の午前中**までに園へ連絡をお願い致します。

尚、今後は前日の午前中を過ぎてのキャンセルは、**200円のキャンセル料をお支払いいただくこと**といたしますので、ご理解をお願い致します。

また、新たにあずかり保育を希望される場合の給食は、**御利用日の3日前**までに申し込んでください。

それ以降は食料の注文の変更ができない為、各御家庭でお弁当を持たせてくださいますようお願い致します。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

鴨池出張所盆踊り大会について

例年開催されています鴨池出張所主催の盆踊り大会が開催されます。

期日 7月14日(土曜日) 17:30～

子どもたちの踊りやみんなの会の出店もあります。お誘いあわせの上、ご参加ください。